

# 平和学習



2020.8.6(木)

今日は、学年ごとに時間をずらして、平和学習を行いました。

内容は、学年の生徒による朗読劇「その日の朝 1945年8月6日 ヒロシマ」です。

2年生・3年生は生徒会役員を中心に朗読劇の発表者を決定しました。

1年生は、まだ生徒会役員が決まっていないため希望者を募って発表者を決定しました。



発表者のみなさんは、7月下旬から放課後の時間を使って内容の打ち合わせや練習、リハーサルを行い、今日の本番を迎えました。

大勢の人の前で緊張したと思いますが、堂々とした朗読で、聞いている人たちの心に響く発表でした。

私思う平和は、たまにケンカをすることがあっても、みんな笑顔で明日があること、この当たり前が平和だと思います。そのために、笑顔がなくなるようなこと(いじめなど)は、絶対しません。(1年)

私は、この平和学習を通して、平和は攻撃をして作るものではなくて、協力や話し合いで作るものだと思います。この平和を続けるために、自分たちができることをやりたいと思いました。(2年)

小学校の時に戦争の怖ろしさを知って、今もその気持ちは変わりません。私たちが「勉強は嫌だ」と嘆いているその一日を、昔の人は普通に送ることができなかつたと考えたら、もっと一日一日を大切にしたいと思いました。(3年)

平和とは「1人1人が自分の意見を持つことができること」だと私は思います。実際に戦争を経験した人は、少しずつ減ってきています。また、同じようなことが起きないようにするには、1人1人が平和について考えることが大切だと思います。(2年)

75年前の戦争を経験した方から、直接当時のお話を聞く機会が減っている今、まず私たちにできるのは

- 事実を知っていくこと
- 自分たちには、平和のバトンを受け継いでいく役割があるという自覚を持つこと
- 平和への思いを深め、普段の生活の中で“今、自分にできること”を考え、行動すること

ではないでしょうか。